第161回 東葛しぜん観察会

夕暮れの江戸川土手～コウモリと星と鳴く虫と

川瀬美幸（柏市）

日　時：2019年8月24日（日）16時30分～19時30分、天気：曇り
場　所：江戸川河川敷（松戸市）、
参加者：一般20名（内 子ども9名）、指導員14名

毎年恒例の江戸川河川敷での観察会。8 月は夕立も多く最近は雨が局所的に激しく降る傾向もあり、特に気象状況の確認には気を使いました。担当指導員が雨雲レーダーのアプリをスマホにインストールして挑んだ観察会でしたが、観察会当日の天気予報が雨から曇りのち晴れに変わり、ホッとしました。

松戸駅から街中を抜けて、河川敷堤防に立つと風が心地よく、空がダイナミックに広がり開放的な気分になります。適度に伸びた草地はバッタたちのいい隠れ場所で、歩くたびにピョンピョンと飛び出してきます。夕暮れのなかトンボもたくさん飛び回り、翅がキラキラと輝いて見えました。また、それらを捕えようと虫網を一生懸命に振る子どもたちの姿は見ていて気持ちが和むものがありました。

空を眺めながらの休憩タイムは、空の色や雲のかたちが刻々と変化してく様をゆっくり観察しました。日が暮れたころにはコウモリたちが活動をはじめ、私たちが座っているほんの 1、2m 頭上を通過し飛んでいきます。バットデッテクターでコウモリの鳴き声をとらえると「キュルキュルキュル…」という音がして、コウモリが近づくと大きくなり遠ざかると小さくなります。本当に彼らは常に鳴きながら飛んでいるのだなあ、と実感しました。

この日は、夜空に少し雲がかかりましたが一番星の木星や土星、夏の大三角形を目視で確認しました。望遠鏡では木星には縞模様や衛星、土星には輪っかも確認できて、大人も子どもも大興奮のひと時でした。

辺りがとっぷりと暗くなった頃には、鳴く虫が主役。きっと私たちの祖先も聴いてきた彼らの声はどこか懐かしいような不思議な気持になります。鳴く虫にとって、彼らが発する音は生きていくための重要なツールであり不可欠なものでしょう。同じ種類でも鳴き声には目的に応じて違いがあることを講師の渋谷さんが教えてくれました。

参加者は親子連れなど子どもの参加も多く、元気いっぱいで虫取りではよく走り回りましたが、捕えた虫の観察の時間やコウモリのお話しの時間は、興味深々で聞き入っている姿が印象的でした。大人になっても夕暮れの江戸川の風景と生きもの達の鳴き声を思い出してくれると嬉しいです。後半は暗い中の観察で、誘導や安全確認など参加指導員に隅々まで目を配っていただき無事に終えることができました。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

夕暮れ休憩タイム

河川敷の虫タイム